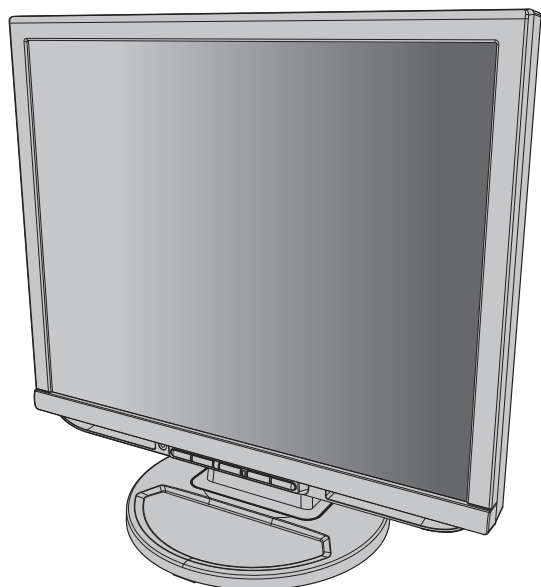
MITSUBISHI

三菱液晶ディスプレイ

Diamondcrysta

RDT196LM2 シリーズ

(AC625)

取扱説明書

■ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■ 「セットアップガイド」は「保証書」と共に大切に保存してください。
■ 必ず転倒・落下防止処置を実施してください。
→ P7, P36 を参照
■ この取扱説明文書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意:法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。（画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。）

www.pc-eco.jp

もくじ

ご使用の前に

何ができるの？

省エネ効果が一目でわかる

電力メーター機能 →P24, P25

現在の電力削減状態をインジケーターで表示することができます。
また、「電源オン時で削減した電力」「パワーマネージメント機能動作時を含む全てで削減した電力」をそれぞれ積算し「電力1」「電力2」（Wh）として確認できます。

2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り換え表示可能

2系統入力 → P14

アナログ出力とデジタル出力のコンピューターを本機に接続し、画面を切り換えて表示させることができます。

ステレオスピーカー内蔵（1W+1W）

前面にヘッドホン端子も装備 → P17

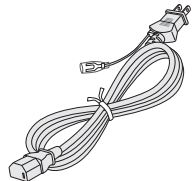
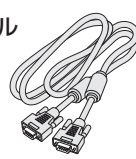
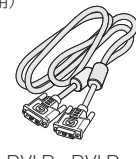
画面をお好みの状態に調節 / 設定できる

OSD(On Screen Display)機能 → P24

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラーなどをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作（OSDオートオフ、OSDロックなど）もできます。

画面の角度を調節できる

画面の角度調節機能 → P19

-5°～+20°の範囲で、お好みの角度に画面を調節できます。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド	電源コード	信号ケーブル	オーディオケーブル
	AC100V専用 本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。	ミニD-SUB15ピン－ミニD-SUB15ピン（アナログ接続用） DVI-D－DVI-D（デジタル接続用）	
保証書（梱包箱に貼り付けてあります。）			ベーススタンド

本書の見かた

本書の表記のしかた

お 願 い ：取扱い上、特に守っていただきたい内容
お知らせ ：取扱い上、参考にしていただきたい内容
→ PXX ：参考にしていただきたいページ
：Windows®とMacintosh両方に関わる内容
：Windows®のみに関わる内容
：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」 → P3
言葉と意味で探す→「用語解説」 → P37
もくじで探す→「もくじ」 → 表紙, P2
さくいんで探す→「さくいん」 → P40

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（★★☆ 2011年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト：www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss（JIS C 0950）」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイトwww.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：RDT196LM2、RDT196LM2 (BK)

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

安全のために必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

死亡や重傷を負うおそれが大きい内容です。

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなくてはならない内容です。

気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障について

異常・故障時は使用を中止してください。

プラグを抜く

◆ **異常があったときは電源プラグを抜いてください**

◎煙が出たり、異常な臭いや音がする
◎映像や音声が出ないことがある
◎内部に水などの液体や異物が入った
◎本機に変形や破損した部分がある
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。
●お客さまによる修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置の電源コンセントをご利用ください。

電源コード・電源プラグについて

◆ **破損するようなことはしないでください**

◎傷付ける　◎ねじる
◎加工する　◎引っ張る
◎熱器具に近づける　◎重いものを載せる
◎無理に曲げる　◎束ねる

火災・感電・ショートなどの原因になります。

●修理は販売店に依頼してください。

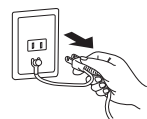
◆ **傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントは使用しないでください**

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は販売店に依頼してください。

◆ **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全だと火災・感電の原因になります。

◆ **電源プラグを持って抜いてください**

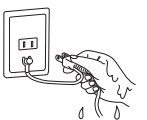
コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になります。

◆ **電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください**

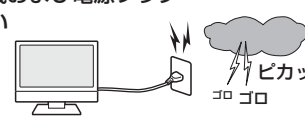
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

濡れ手禁止

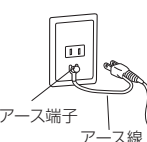
◆ **濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください**

感電の原因になります。

接触禁止

◆ **雷が鳴り出したら、本機および電源プラグには触れないでください**

感電の原因になります。

アース線を接続する

◆ **アース線を接続してください**

故障のときに感電の原因になります。

●電源プラグを接続する前にアース線を電源コンセントのアース端子へ接続してください。
●アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
●アース端子付き電源コンセントがない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◆ **アース線を電源コンセントに挿入・接触させないでください**

感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

◆ **長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜いてください**

電源プラグにほこりがたまり、感電・火災の原因になります。

⚠警告

接続ケーブルについて

◆ **接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください**

火災・感電の原因になります。

◆ **接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理してください**

火災・感電・けがの原因になります。

水濡れについて

水濡れ禁止

◆ **上に花びんやコップなどを置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

風呂・シャワー室などでの使用禁止

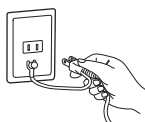
◆ **風呂場や水のかかる所に置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

電源について

◆ **電源はAC100-120VまたはAC220-240Vを使ってください**

火災・感電の原因になります。

- ●AC100V電源では付属の電源コードを使用してください。
- ●AC100V以外の電源では、使用電圧に適合する電源コードをご準備ください。

電源について

◆ **電源コンセントや電源コードの定格を超えて使わないでください**

◆ **たこ足配線をしないでください**

電源コンセントの電流容量を超えると、火災の原因になります。

誤飲防止について

◆ **小さい付属品は、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

誤って飲み込むおそれがあります。

- ●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師の診察を受けてください。

異物について

◆ **内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください**

火災・感電・故障の原因になります。

- ●特にお子さまにご注意ください。

設置について

◆ **不安定な場所に置かないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがや故障による火災の原因になります。

液晶について

◆ **液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た場合は、吸い込んだり、目や口に入れたりしないでください**

中毒を起こす原因になることがあります。

- ●万一、目や口に入ってしまった場合は、水でゆすいだ後、すぐに医師の診察を受けてください。
- ●手や衣類に付着した場合は、アルコール等で拭き取り、水洗いをしてください。

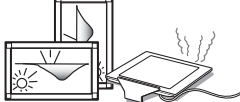
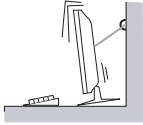
分解禁止について

分解禁止

◆ **裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください**

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。

高圧注意

- ●内部の点検・調整・修理は修理相談窓口にご依頼ください。

⚠注意

本機の取り扱いについて

◆ **強い力や衝撃を加えないでください**

LCDパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

◆ **上にものを置かないでください**

落下して、けがの原因になることがあります。

◆ **直射日光や熱器具のそばに置かないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **液晶パネル面を強く押さないでください**

・傷が付いたり、破損してけがの原因になることがあります。

・画質劣化や故障の原因になることがあります。

手を挟まれないように注意

◆ **本機のスタンド取り付けおよび画面位置や角度の調節時に手を挟まないでください**

◆ **付属のスタンドは本機以外では使用しないでください**

けがの原因になります。

◆ **ポリ袋で遊ばないでください**

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ **乗らないでください**

◆ **ぶらさがらないでください**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ **屋外で使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **車に載せるなどの移動用途では使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **電源コードや接続ケーブルをつけたまま移動しないでください**

本機や電源コードおよび接続ケーブルが破損する原因になります。

設置について

◆ **通風孔をふさがないでください**

◆ **風通しの悪い狭い所で使用しないでください**

◆ **上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

通風孔をふさがない

狭い所で使わない

上向きや横倒し、逆さまで使わない

◆ **本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

◆ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください**

ショートして故障したり、画面が汚れたりする原因になることがあります。

◆ **転倒・落下防止部品を使用して固定してください**

転倒・落下して、けがの原因になります。

設置台を補強する

丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

⚠注意

お手入れのしかた

プラグを抜く

◆ お手入れの前に、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください

■ 液晶パネルのお手入れ

表面は傷付きやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
ほこりの付いた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面がはがれることがあります。

●表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭き取ってください。
●油など拭き取りにくい汚れのときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、拭き取ったあと柔らかい布で仕上げてください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷付けるので使用しないでください。
●水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにすると液晶パネルの変質や変色の原因になります。
●表面にほこりが付いたときは、市販の柔らかいブラシなどでおとしてください。
●帯電防止剤は、液晶パネルの変質や変色の原因になるものがあります。ご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

■ キャビネットのお手入れ

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやクリーナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

●柔らかい布で軽く拭き取ってください。
●汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
●水滴などが液晶パネルの表面を伝ってディスプレイの内部に侵入すると故障の原因になります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

使用禁止

◆ 通風孔に付着したゴミはこまめに取り除いてください

ほこりが通風孔をふさいで内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

◆ １年に一度は内部掃除をしてください

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

●内部の掃除は販売店にご依頼ください。

ご使用に関して

◆ 海外で使用しないでください

国内と海外では電源電圧が異なり、故障の原因になることがあります。

●本機は日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

国内専用
For use in Japan only

◆ 目が疲れないように使用してください

目が疲れる使い方を続けると、視力低下などの健康障害に至ることがあります。

●画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
●明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
●連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

◆ 長時間同じ画面を表示しないでください

長時間同じ画面を表示していると、表示が焼き付くこと（残像）があります。

●画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
●「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることを推奨します。

使用上のお願い

液晶ディスプレイの上手な使い方

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のない所まで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時は、水・ゴミ・ほこりや衝撃から保護するために、ご購入時の包装材（箱・袋・緩衝材）を使用されることを推奨します。

廃棄について

- 本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。→P33
- 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。環境や健康に悪影響を与える原因になります。

液晶パネルについて

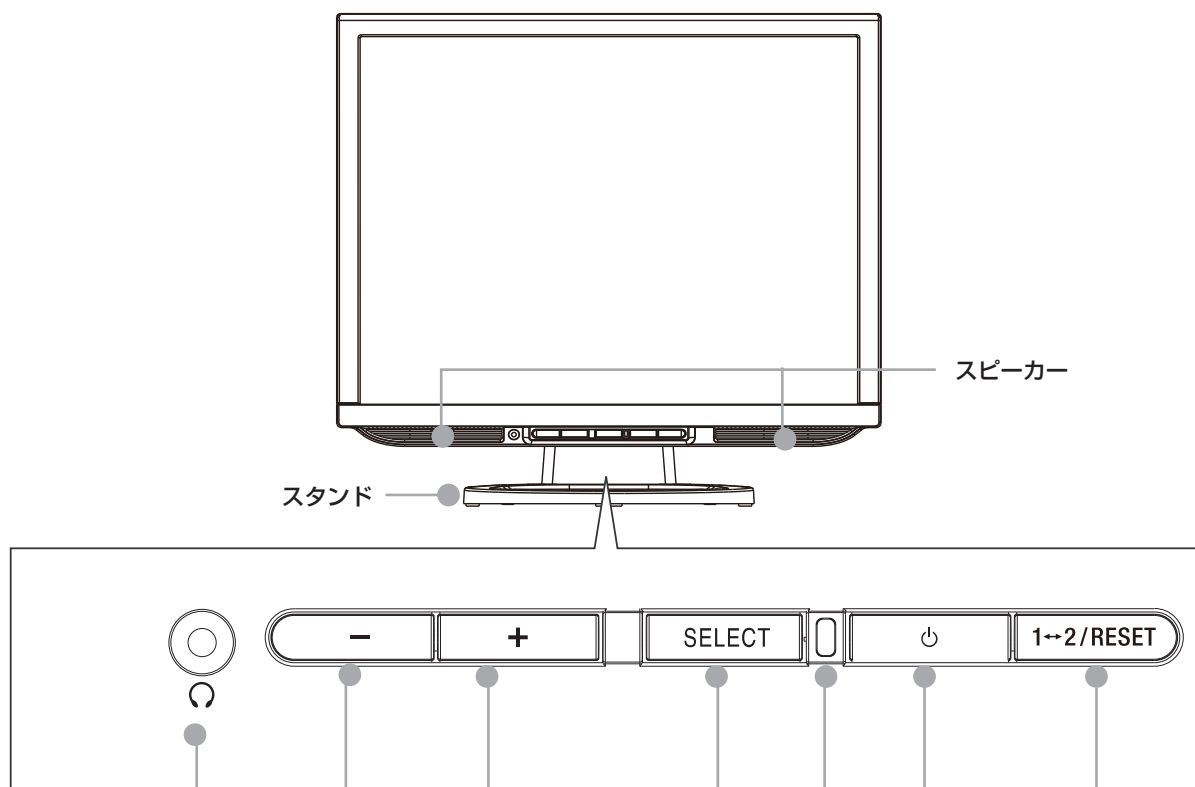
- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。
  本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

  お知らせ
  有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
  「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2にしたがい、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixel)」となります。
  つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷付けないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体正面

ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して使用できます。

SELECTボタン
OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
選択した調節項目を決定します。

電源スイッチ
電源をオン／オフします。

お願い
電源を短時間のうちに頻繁にオン／オフしないでください。
故障の原因になることがあります。

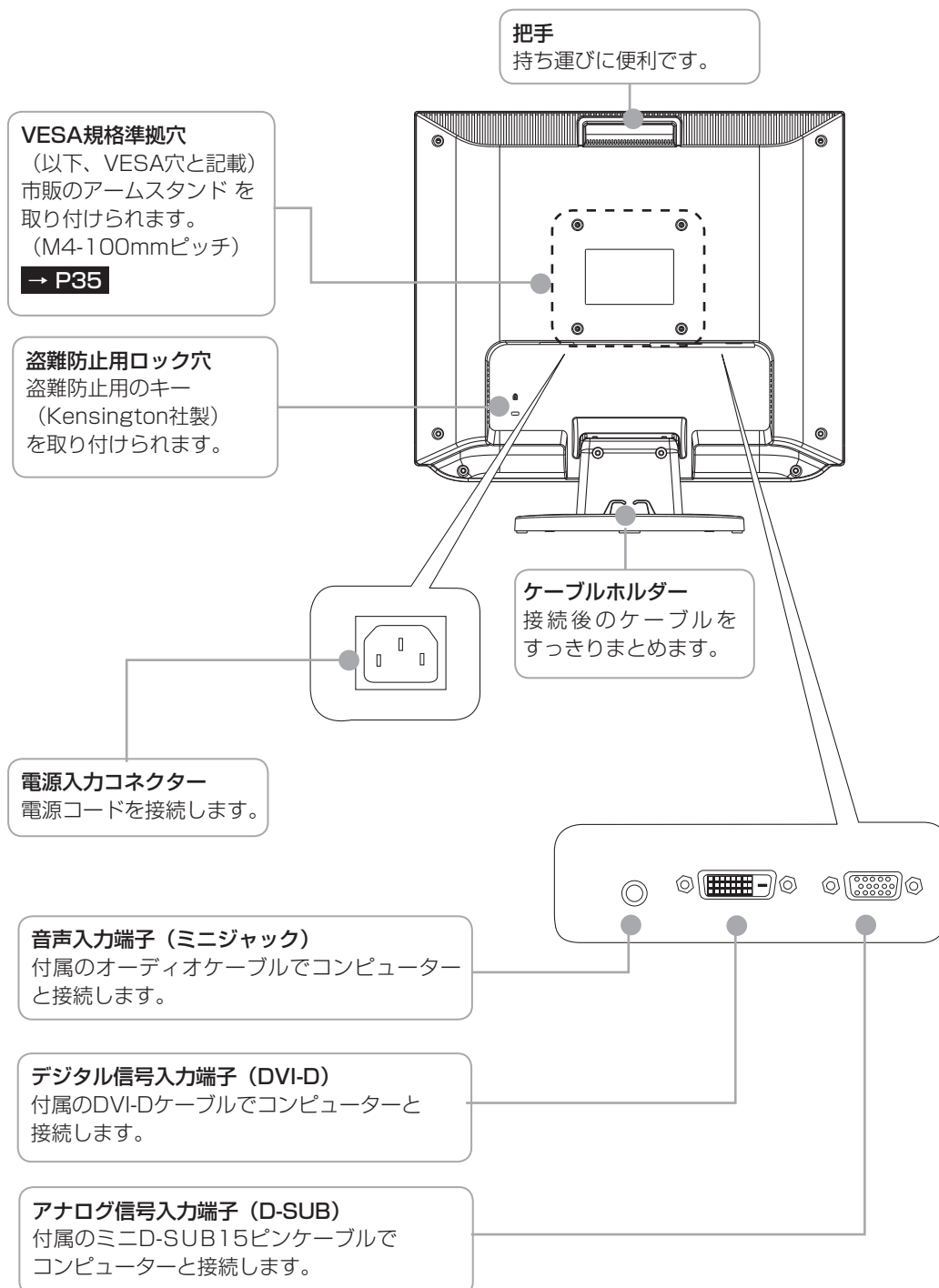
−ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
ブライトネス調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

+ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
音量調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

電源ランプ
電源を入れたとき緑色に点灯します。
パワーマネージメント機能 → P27 が作動中は橙色に点灯します。

1⇔2／RESETボタン
OSD画面が表示されていないとき
D-SUB⇔DVI-D 押す都度、交互に入力切り換えをおこないます。
OSD画面が表示されているとき
現在表示中のメニュー内の項目のリセット画面を表示します。

お知らせ

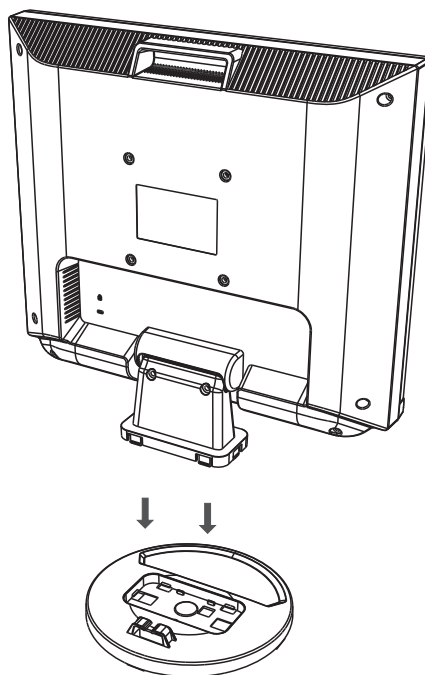
● 各ボタンによる詳しいOSD操作については「OSDの基本操作」→ P23 をご覧ください。

各部のはたらき（つづき）

本体背面

使用の準備

これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

[準備1] ベーススタンドを取り付ける

図のように水平な机の上に、付属のベーススタンドを置いてください。
本体のネック部分とベーススタンドの凹凸部を重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

⚠注意

- ベーススタンドが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
  取り付けた際に、ベーススタンドと本体のネック部の四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。
- スタンドを組立てる際に、指を挟んで怪我しないように手袋をして作業されることを推奨します。

[準備2] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

お 願 い

● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

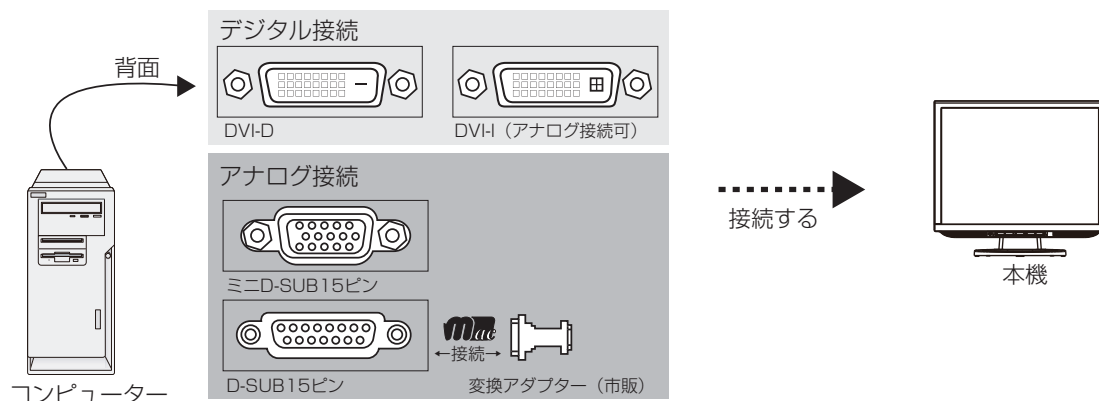
お知らせ

● 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）

2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）

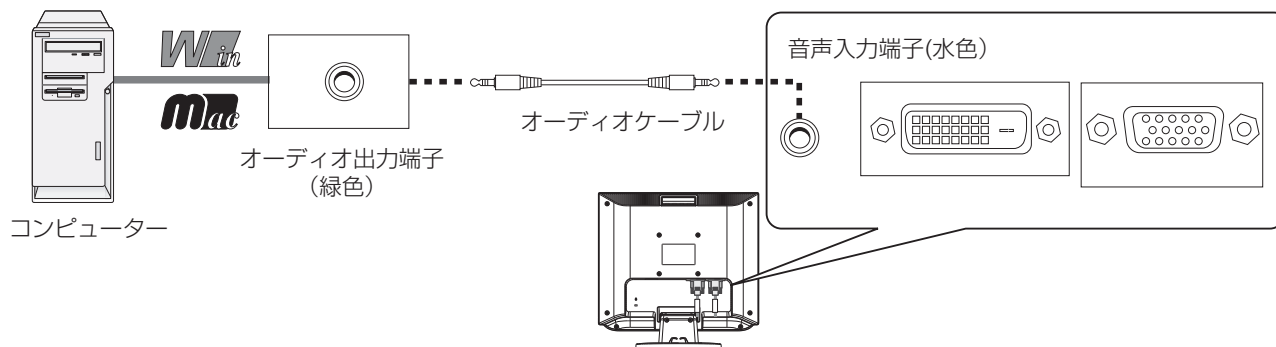
接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D）に対応しています。
また、2台のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り換えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。

接続コネクターと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	DVI-D（デジタル）	ミニD-SUB15ピン（アナログ）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-A—ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）または ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）
DVI-D（デジタル接続）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	接続できません
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	接続できません。	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続
D-SUB15ピン（アナログ接続）（2列） Mac	接続できません。	ミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）

DVI-I ：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能
DVI-D ：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A ：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

コンピューターのオーディオ出力端子と接続

お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものを使用ください。
  抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備3] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠注意

**● ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。
音量によっては耳を傷める原因になります。**
**● ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。**

お知らせ

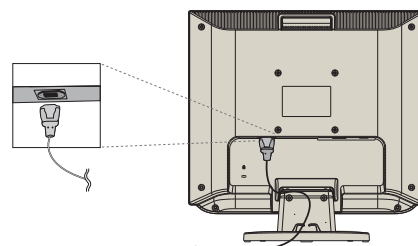
● 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
● ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
● 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。

[準備4] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに接続する

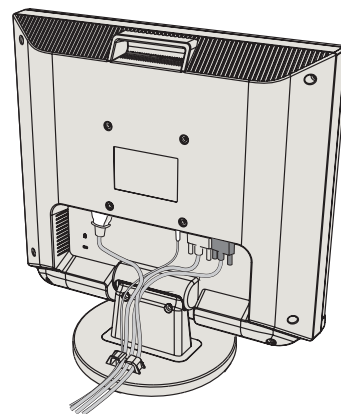
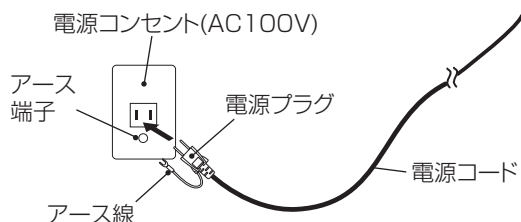
奥までしっかりと差し込んでください。

お 願 い

● コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0 A 以上必要です。）
● 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

[準備5] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

お願い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダー部へは、 細いケーブルから順番に入れて、電源コードを最後に挿入するとホルダーから外れにくくなります。

[準備6] 電源プラグのアース線を接続する
[準備7] 電源プラグをAC100 V電源コンセントに接続する

お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
  This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠警告

- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機には一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V以外（最大AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。**
- **電源プラグのアース線は必ず電源コンセントなどのアース端子へ接続してください。なお、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。**

アース端子付きコンセントが無い場合

- **ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線には接続しないでください。感電・爆発・引火の原因になります。**
- **お買い上げの販売店にアース工事（D種接地工事、有料）をご相談ください。アース工事は「電気工事士」資格が必要です。**

[準備8]　設置する

ディスプレイの画面が見やすい所に設置する

⚠注意

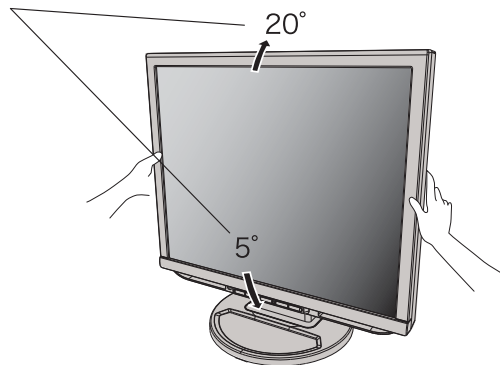
設置時は、次のことをお守りください。

詳しくは「安全のために必ずお守りください」をご覧ください。 → P7

- 不安定な場所に置かないでください。
- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。
- 通風口をふさがないようにしてください。
- 本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください。
- 転倒・落下防止の処置を施してください。

[準備9]　画面の角度を調節する　[必要に応じて]

お好みに合わせて本機の角度を調節する

右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。

⚠注意

角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。
けがの原因になることがあります。

液晶画面を押さないようにしてください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

[準備10] 画面調節

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

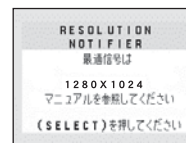
2 画面の調節をおこなう

■ **デジタル接続の場合**
自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ **アナログ接続の場合**
「自動調節をする（D-SUB入力のとき）」→ P21 の手順にしたがって画面を調節してください。
自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「OSDメニュー一覧」→ P24 をご覧になり、手動で調節してください。

お知らせ

● 最適な解像度以外の信号を入力している場合、RESOLUTION NOTIFIERの案内画面が表示されます。

解像度を変えずにこのままご使用になる場合、この案内画面を表示させなくすることができます。
OSDの「ツール」：「RESOLUTION NOTIFIER」→ P24で設定できます。

RESOLUTION NOTIFIER の案内画面

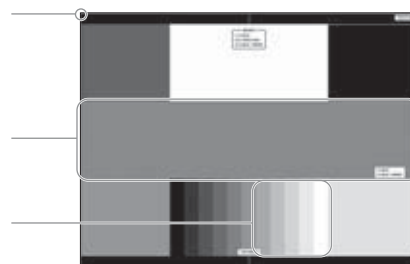
テストパターン

テストパターンは、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。
ご使用方法については、ダウンロードしたREADME をご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

OSDメニューの「左／右」または「下／上」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。→ P24

OSDメニューの「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。→ P24

OSDメニューの「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。→ P24

テストパターン表示画面

お知らせ

テストパターンは、64bit 版 OS に対応しておりません。
<対応 OS>
Windows® 95/98/Me/2000、Windows® XP(32bit 版)、Windows Vista® (32bit 版)、Windows® 7(32bit 版)

自動調節をする（D-SUB入力のとき）

本機をコンピューターとアナログ接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→ P24
自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。
2つともおこなってください。

お知らせ

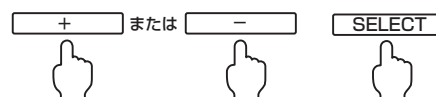
- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSDの基本操作」→ P23 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体にダウンロードしたテストパターン → P20 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 液晶ディスプレイ前面の「SELECT」ボタンを押し、OSDメニューを表示する

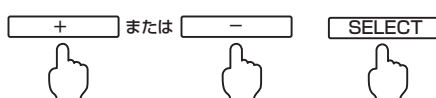
4 コントラストの自動調節をおこなう

① 「＋」または「−」ボタンを押し、オートコントラスト（AUTO ◑）にカーソルを移動し、「SELECT」ボタンを押します。

② 「1⇔2/RESET」ボタンを押します。 コントラストの自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

「実行中」の文字が消えたら調節完了です。手順5に進みます。

自動調節画面

5 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

① コントラストの自動調節が終わったら、「＋」または「−」ボタンを押し、自動調節（AUTO）に カーソルを移動し「SELECT」ボタンを押します。

② 「1⇔2/RESET」ボタンを押します。左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が 表示されます。

「実行中…」の表示が消え、アイコンの選択画面が表示されたら、調節完了です。

これですべての自動調節が完了しました。

自動調節画面

6 以下の手順でOSDメニューを消す

① 「＋」または「−」ボタンを押して「EXIT」のアイコンにカーソルを移動します。
② 「SELECT」ボタンを押し、OSDメニューを消します。

お 願 い

- DOS プロンプトのように文字のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

[準備11] Windows®セットアップ情報 [必要に応じて]

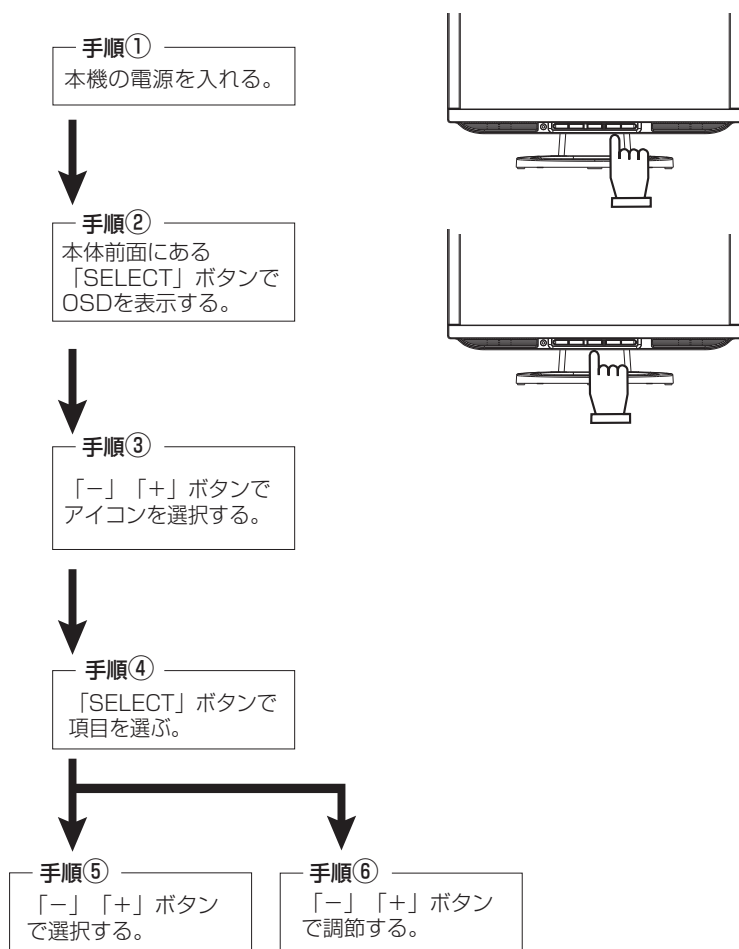
Windows® XP/7, Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

機能

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSDの基本操作

OSD 画面の基本操作の手順は、次のようにおこないます。

その他、OSDで操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

お知らせ

● 上記のボタンのいずれも押さず OSD オートオフで設定された時間が経過すると OSD 画面は自動的に消えます。（工場設定は 45 秒）

OSDメニュー 一覧

<table>
<tr><th>アイコン</th><th colspan="2">内　　容</th></tr>
<tr><td>音量
ミュート時</td><td colspan="2">スピーカーの音量を調節します。
「RESET」ボタンを押すと、MUTE（消音）状態になります。
もう一度「RESET」ボタンを押すと、MUTE（消音）状態はオフになります。</td></tr>
<tr><td>ブライトネス</td><td colspan="2">画面の明るさを調節します。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td colspan="2">コントラストを調節します。</td></tr>
<tr><td>AUTO
コントラスト（AUTO）</td><td colspan="2">コントラストを自動調節します。（アナログ接続の場合のみ）</td></tr>
<tr><td>AUTO
自動調節</td><td colspan="2">左右方向、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。（アナログ接続の場合のみ）</td></tr>
<tr><td>左／右</td><td colspan="2">左右方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>下／上</td><td colspan="2">上下方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>水平サイズ</td><td colspan="2">画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。</td></tr>
<tr><td>位相</td><td colspan="2">画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。
また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。（アナログ接続の場合のみ）</td></tr>
<tr><td>USER
COLOR</td><td colspan="2">色を調節します。
あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。
設定されている色（9300、6500、5000 、USER）がアイコンで表示されます。</td></tr>
<tr><td>R
RED</td><td colspan="2">赤色を調節します。</td></tr>
<tr><td>G
GREEN</td><td colspan="2">緑色を調節します。</td></tr>
<tr><td>B
BLUE</td><td colspan="2">青色を調節します。</td></tr>
<tr><td rowspan="12">TOOL</td><td colspan="2">TOOLアイコンを選択すると下記のアイコンに切り換わります。</td></tr>
<tr><th>TOOLアイコン</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>言語切換</td><td>ＯＳＤ画面の表示言語を切り換えます。</td></tr>
<tr><td>OSD オートオフ</td><td>ＯＳＤ画面が自動的に消えるまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td>OSD ロック</td><td>誤って調節してしまうことを防ぐためのＯＳＤメニュー操作禁止を設定、解除できます。ＯＳＤロック状態でも、音量、コントラストとブライトネスは調節可能です。</td></tr>
<tr><td>xy
RESOLUTION NOTIFIR</td><td>最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン／オフします。</td></tr>
<tr><td>MONITER INFO.</td><td>MODEL（形名）とSERIAL NUMBER（製造番号）を表示します。</td></tr>
<tr><td>OSD 水平表示位置</td><td>OSDの左右方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>OSD 垂直表示位置</td><td>OSDの上下方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>DDC/CI</td><td>DDC/CI通信機能をオン／オフします。
オフの場合、外部からの制御ができなくなります。</td></tr>
<tr><td>電力メーター表示</td><td>電力削減状態を表示します。</td></tr>
<tr><td>EXIT</td><td>OSDメニューのＴＯＯＬアイコンに戻ります。</td></tr>
<tr><td>オールリセット</td><td colspan="2">音量、ブライトネス、コントラスト、左／右、下／上、水平サイズ、色調節、ＯＳＤオートオフを出荷時の状態に戻します。</td></tr>
<tr><td>EXIT</td><td colspan="2">ＯＳＤ画面を消します。</td></tr>
</table>

主なOSD機能

カラー調節

お好みに応じて画面の色あいを調節することができます。

●9300、6500、5000

色温度調節

あらかじめ設定されている9300、6500、5000の色温度を選択することができます。

●USER

色調節

次のそれぞれの色についての調節ができます。R：赤色、G：緑色、B：青色

9300、6500、5000 を選択していても、R,G,B どれかを調節するとその時点で選択がUSER に切り換わります。

●リセット

「RESET」ボタンを押すと調節した値が工場設定に戻ります。

ツール

■OSD ロック

OSD ロック画面を表示している状態で、操作をおこないます。

● OSD メニューの操作をロックする

「RESET」ボタンを押しながら「+」ボタンを押すと、OSD がロックされOSD オートオフで設定された時間後にOSD メニューは消えます。

● ロックを解除する

OSD が表示されている状態で、「RESET」ボタンを押しながら「+」ボタンを押すとロックが解除されます。

OSD ロック設定中の画面

■ RESOLUTION NOTIFIER

最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン/ オフします。右のような画面が表示される場合、これを表示しないようにするためには、オフを選択してください。

操作の手順については、「OSDの基本操作」→ P23 を参考にしてください。

RESOLUTION NOTIFIER の案内画面

■ 電力メーター

電力削減状態を表示します。

● 電力1

電源オン時の積算した電力削減状態を消費電力量で（Wh）で表示します。

● 電力2

パワーマネジメント機能動作時を含む全ての積算した電力削減状態を消費電力量で（Wh）で表示します。

● 電力レベル

電力削減状態のレベルを「+」「−」ボタンで調節します。

%の値が大きい方が電力削減状態も大きくなります。

お好みのレベルに設定してください。

● 電力メーター表示（葉っぱマーク表示）

電力削減状態を電力（W）と葉っぱマークで表示します。

電力メーターを表示させる場合は、「オン」を選択します。

電力メーターはシースルー調節された透明度で、主OSD画面が消えた後に表示画面の右下に表示されます。

● 電力メーター　シースルー

電力メーターの濃さを調節します。

「+」「−」ボタンで、調節バーの下部に表示された電力メーターの透明度が変化します。

お好みの透明度に設定してください。

電力メーター設定画面

お知らせ

● 消費電力量（Wh）の表示をリセットした場合、電力1、電力2共表示が「0」Whに戻ります。

● 電力メーター画面で「RESET」ボタンを押した後に「+」ボタンを押すとリセットされます。
なお、オールリセットの実行では「電力1」「電力2」はリセットされません。

● ブライトネスの設定により、電力削減状態が変化します。

● 本機能は、音量の電力には対応していません。

● 表示された消費電力量（Wh）および電力（W）の値は目安です。

HOT KEY

■ HOT KEY

OSD 画面が表示されていないとき各ボタンを押すことで直接調節できます。

「−」ボタンを押すとブライトネス調節画面を表示します。

「+」ボタンを押すと音量調節画面を表示します。

工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。
また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、画面調節 → P24 をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 960	60.0kHz	60.0Hz	
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	推奨信号タイミング
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、自動調節 → P24 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行するとすべてのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～81.1kHz、垂直周波数56～75Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はインターレース信号には対応していません。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- 本機は解像度1280 × 1024以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1280×1024より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

● 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

● 75Hz より高い垂直周波数の同期信号では動作しません。

Plug&Play 機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA：No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

お知らせ

● アナログ（D-SUB）信号入力時のみ機能します。

自動入力選択機能（2 系統入力時）

ビデオ信号の入力の有無によって自動的にビデオ信号の入力がある方を表示する機能です。2台のコンピューターを本機に接続し、同時に使用している場合、「1⇔2/RESET」ボタンを押さなくても、現在表示中のコンピューターからのビデオ信号がなくなると自動的にもう一方のコンピューターの画面に切り換わります。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
標準	30 W	緑色点灯
スリープモード時	0.5 W以下（AC100 V時）	橙色点灯

水平または垂直同期信号がオフ状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

● キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

困ったとき

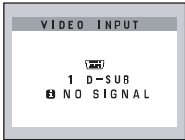
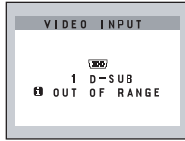
故障かな？と思ったら

表示されないときは…　**このようなときは、チェックしてください。**

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17 P18
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	−
		電源コードをコンピューターの本体の電源コンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	−
	電源ランプが緑色に点灯している場合	「SELECT」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P23
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は、ブライトネス（☼）とコントラスト（◑）を調節してください。	P24
		● OSD画面が正常に表示され、ブライトネス（☼）とコントラスト（◑）を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P24
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P27
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	−
	電源ランプが緑色に点滅している場合	本機が故障している可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
突然、画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 接続されているすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。	P14
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。	P33

表示がおかしいときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	線の太さなどがぼやける	1280×1024以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を1280×1024に設定してください。 または、アナログ(D-SUB)接続の場合は、自動調節（AUTO）を実行すると軽減できる場合があります。	P21
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色あいの変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P38
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	画面を切り換えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	P8
	表示色がおかしい	「SELECT」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P24
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「カラー調節」で「USER]を選択し、お好みで色の割合を調節するか、オールリセット( )で工場出荷設定に戻してください。	P24
		● OSD画面が正常に表示され、色を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P26
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
		ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P14

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

表示がおかしいときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P14
	画面がちらつく（上記以外の場合）	「SELECT」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P24
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は、位相（ ）を調節してください	P24
		● OSD 画面が正常に表示され、位相（ ）を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P26
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P33
		上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを60Hzに設定してください。	－
	解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P10
		Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P22
		Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	－

音がでないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
音が出ない	スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。正しく接続されているか確認ください。	P14
		ヘッドホンが接続されている場合スピーカーから音は出ません。 ヘッドホンを外してください。	P16
		音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。 OSDメニューの音量（ ミュート時）を選択し、「＋」または「－」ボタンで音量を調節するか、MUTE（消音）をオフ にしてください。	P24

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	状　態	原因と対処	参照
OSDの「注意画面」が表示される	画面に「NO SIGNAL」が表示された ※1	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。 信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P14
		信号ケーブルが断線している可能性があります。 信号ケーブルが断線していないか確認してください。	－
		コンピューターの電源が切れている可能性があります。 コンピューターの電源が入っているか確認してください。	－
		コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。 マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P27
	画面に「OUT OF RANGE」が表示された※2	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。 本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P26
		本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。 コンピューターの解像度を変更してください。	P26
	画面に「RESOLUTION NOTIFIER」が表示された	ご使用のコンピューターから出力されている信号が推奨解像度以外に設定されています。 コンピューター本体の解像度を1280×1024にしてください。そのままの解像度をお使いでこれを表示させたくない場合は、RESOLUTION NOTIFIERをオフ（非表示）に設定してください。	P26

※１ コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※２ コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については下記の当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
フリーダイヤル 0120-345-989 www.pc-eco.jp	TEL 0467-46-5716 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

"PCリサイクルマーク"の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ"PCリサイクルシール"を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ：

www.pc-eco.jp

画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。

ご注意：

法人(事業者)のお客様で、ご購入いただいた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

● この製品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
● 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
● この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

お客様相談窓口（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）	**修理相談窓口**（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）
フリーダイヤル 0120-71-3322	フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00～12:00　午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。
- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT196LM2、RDT196LM2(BK)**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PCおよびグラフィックボード（メーカー、形名）、解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

● 無料出張サービス規定
この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

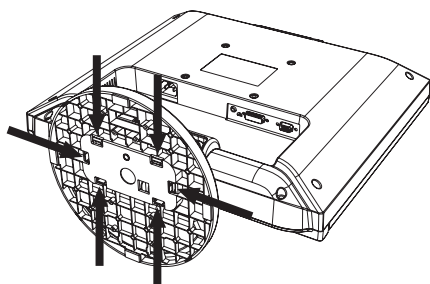
個人情報の取り扱い

● お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

付録

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でベーススタンドを取り外してください。

水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。
図のように矢印方向に指でつめを押して外してください。
つめを6カ所外すと本体からベーススタンドを取り外すことができます。

⚠注意

● 表示部を下向きに置く際に表示部の下にものを置かないでください。
　また、突起などが無いことを確認し表示部を傷付けないように注意してください。

お願い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部（液晶パネル）を傷付けないようにしてください。

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お 願 い

● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約 4.5 kg です。）

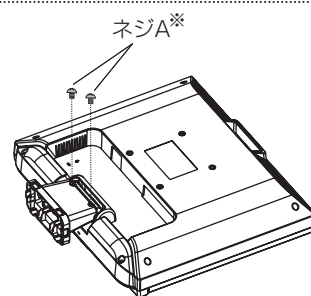
お知らせ

● 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しています。

■アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

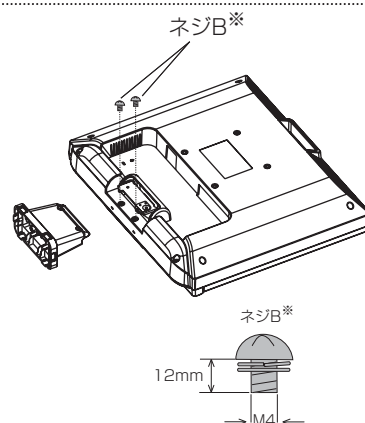
1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブルと電源コードを取り外す

ネジA※

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部（液晶パネル）を傷付けないように下向きに置いておこなってください。

2 スタンドを取り付けている2本のネジA※ を取り外し、スタンドを引き抜く

3 次にスタンドを取り付けていたネジ部の下側2本のネジB※ を取り外す

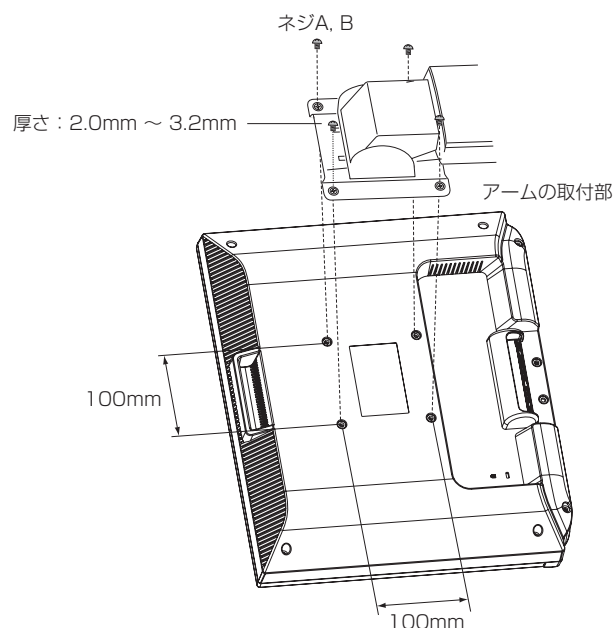
ネジB※

お 願 い

● スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずスタンドの取り付けに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
● ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。
なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

ネジB※
12mm
M4

4 ディスプレイ背面のアーム取り付け部に締め付けられている4本のネジを外し、スタンドの取り付けに使用していたネジA，Bを使って、下記仕様のアームを取り付ける

取付可能アーム：
　取付部厚み　2.0 mm ～ 3.2 mm
　VESA規格準拠　100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締めてください。
（但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98～137 N·cmが適切な締付トルクです。）

※　上記アームの取付部形状は参考例です。

市販のアームを取り付けるとき（つづき）

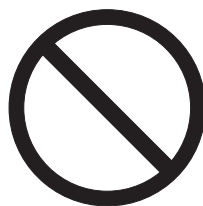
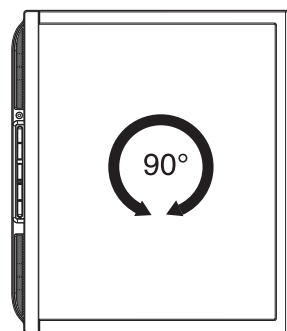
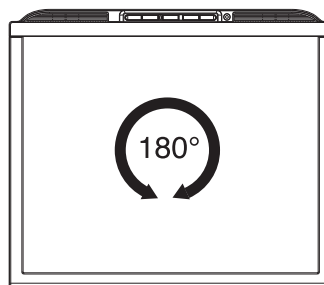
⚠注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。
  落下してけがの原因になります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き鉄製M4ネジ（長さ12～14 mm）
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90° 回転や180° 回転した状態でご使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

禁止

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

2系統入力 P14、P27
2台のコンピューターを接続するための入力端子を準備していることを表します。

DDC 2B規格 (Display Data Channel) P27
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DDC/CI規格(Display Data Channel Command Interface) P38
VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DPM (Display Power Management) P27
VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DVI-A端子 (Digital Visual Interface-Analog) P14
アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子(Digital Visual Interface-Digital) P14
デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P14
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

Plug&Play P27
Windows® で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

RESOLUTION NOTIFIER P24、P31
最適な解像度以外の信号をコンピューターで設定している場合に、推奨信号の案内を画面に表示する機能です。

VESA規格 (Video Electronics Standards Association) P11、P35
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P24、P30
アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

応答速度 P38
表示している画面を変化させたときの画面の切り換わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

輝度 P38
単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

国際エネルギースタープログラム P4、P38
デスクトップコンピューターの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

コントラスト比 P38
白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 P8、P29
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P29、P38
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

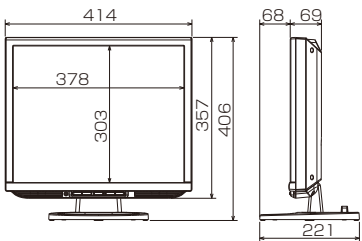
水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート） P26、P37
水平周波数：1秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数31.5 kHzの場合、1秒間に走査線を31,500回表示するということです。
垂直周波数（リフレッシュレート）：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が、60 Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

チルト角度 P19、P38
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／NTAA(No Touch Auto Adjust) P27
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P27
コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 P26、P38
一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

仕様

形名			RDT196LM2	RDT196LM2(BK)
外形寸法（mm）			414 / 378 / 303 / 357 / 406 / 68 / 69 / 221	
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		19 型（48.2cm）	
	液晶方式		TN、ノングレア（反射防止）	
	有効表示領域		376.3 × 301.1mm	
	表示画素数		1280×1024	
	画素ピッチ		0.294mm	
	表示色		約1677万色	
	視野角		左右　170°、上下　160°（コントラスト比10）	
	輝度（標準値）		250 cd/m^2	
	コントラスト比		1000：1	
	応答速度		5ms	
	バックライト		蛍光管	
PC入力	水平周波数		31.5～81.1 kHz	
	垂直周波数		56～75 Hz（ノンインターレース）	
	ビデオ信号		デジタルRGB、アナログRGB	
	同期信号		デジタル入力：TMDS アナログ入力：セパレート同期信号（TTL）	
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D アナログ入力：ミニD-SUB15ピン	
ビデオ入力			―	
音声入出力	入力コネクター		φ 3.5 mm ステレオミニジャック	
	スピーカー		1 W+1 W（ステレオ）	
	ヘッドホン		φ 3.5 mm ステレオミニジャック	
適合法規格等	安全		UL60950-1、c-UL	
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン、FCC/DOC	
	省エネルギー基準		国際エネルギースタープログラム	
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）	
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B	
	その他		PCグリーンラベル（★★☆ 2011年度版）、グリーン購入法 J-Mossグリーンマーク、DDC/CI、Windows® 7	
使用環境条件	温度		5～35 ℃	
	湿度		30～80%（結露の無いこと）	
電源	電源入力		AC 100 - 240 V、50/60 Hz	
	消費電力	標準	30 W	
		通常時※1	18.6 W	
		省エネモード	スリープモード時：0.5 W以下（AC100 V時） オフモード時：　0.35 W以下（AC100 V時）	
	電源入力コネクター		3P　IECタイプ	
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 4.9 kg	
		スタンドなし	約 4.5　kg	
キャビネット色			ホワイト	ブラック
梱包状態（質量／寸法）			約 6.2 kg／480（W）× 471（H）× 150（D）mm	
チルト角度／スィーベル角度／高さ調節／縦型表示			上20°、下5°／機能なし／機能なし／機能なし	

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内100V商用電源対応品です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満たしています。
- 本機は、解像度1280×1024以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

※1　画面寸法比80%、輝度120cd/m^2の白ウィンドウ画面時の消費電力、音量設定：最小、外部機器非接続時（当社測定結果による）。

FCC

FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
   (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,
   (2) Please use the supplied shielded video signal cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.

2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
   · Reorient or relocate the receiving antenna.
   · Increase the separation between the equipment and receiver.
   · Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
   · Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

3. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

U.S. Responsible Party: Mitsubishi Electric Visual Solutions America, Inc.
Address: 9351 Jeronimo Road,
Irvine, California 92618 U.S.A.
Tel. No.: +1-(949)465-6000

Type of Product: Display Monitor
Equipment Classification: Class B Peripheral
Model: RDT196LM2(AC625)
RDT196LM2(BK)(AC625)

FC We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.

さくいん